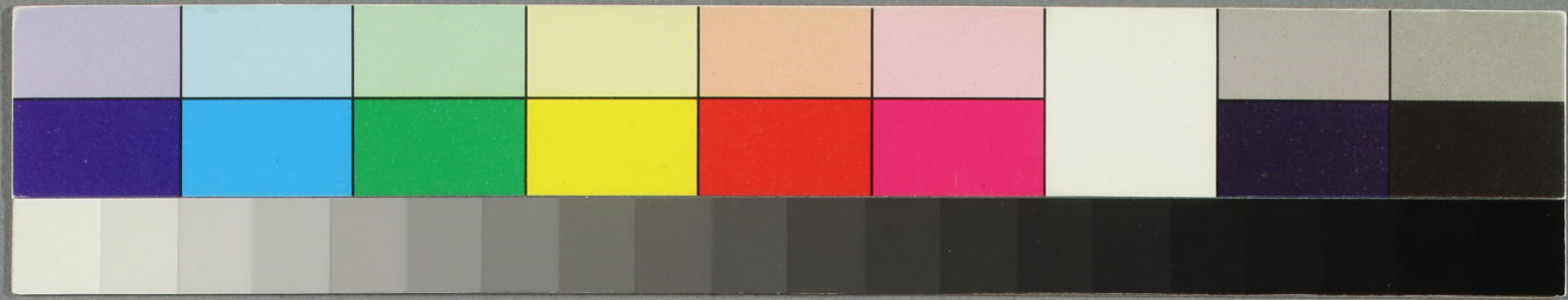


後考礦辛其
戶

特別
千 13
3849
44(3)





門番 13
3849
44-3

役者酸辛其 藝品定

江戸見聞録

古き紙

新しき紙

古き者

字の人の

下りぬれ

とよみ

江戸中乃 立役



とららら
を刀打のきりハ

四方へとく

角かげ

行そ山一交

みろの

癒えぬ

出世ハ及んそらく
あか

月のおろし

らぐへぬ

きんぎょ

尺四寸

江戸之芝居物役者目録

さく下 中村勘三郎

ちん下 市村右太衛門

こび下 東田初平

▲立役之部

○凡立法五名をたてておる

上吉 市川忠十郎 松田

上吉 松本幸四郎 日産

上吉 大谷廣海 中村

上吉 市川八百蔵 市村

上吉 坂東三津三郎 松田

上吉 市川崑彦 中村

市川崑彦 中村

上上吉 坂东又右衛門 赤田

親見世ハリノリ 赤田

上上吉 沢村長十郎 同左

沢村のあはるき 山名

上上吉 嵐 三田市村

親ハの名ハハリノリ 坂下

上上 尾上段三郎 中村

尾上ノ名ハハリノリ 坂下

上上吉 山立屋又九郎 赤田

山立屋ノ名ハハリノリ 赤田

上上 山科田部十郎 中村

山科ノ名ハハリノリ 中村

上上 中村揚又市 市村

中村ノ名ハハリノリ 市村

上上 沢村俊又市 赤田

沢村ノ名ハハリノリ 赤田

上上 尾上段三郎 市村

尾上ノ名ハハリノリ 市村

上上 坂东吉彦中上尾上戸助中

坂東ノ名ハハリノリ 中上

上上 市川隆彦中上市川春彦

市川ノ名ハハリノリ 中上

上上 市川保彦中上中村吉之中

市川ノ名ハハリノリ 中上

正山下門田吉彦

上上吉 嵐 三又市 市村

嵐ノ名ハハリノリ 市村

上上吉 實忍之部 市村

實忍ノ名ハハリノリ 市村

上上吉 中徳之南彦 中村

中徳ノ名ハハリノリ 中村

上上吉 大谷廣左衛門 赤田

大谷ノ名ハハリノリ 赤田

上上吉 中村助又市 中村

中村ノ名ハハリノリ 中村

上上吉 大谷友左衛門 市村

大谷ノ名ハハリノリ 市村

上上吉 中村伸彦 中村

中村ノ名ハハリノリ 中村

▲歌後之部

○凡そ立たるべきものなり

上上 申傳 初左 中村左

親の代々 詠後と トラニ

上上 之丞 富士又 市 本田左

かみのハニ 五一乃 山ワ

上上 市川 純右 中村左

立役 二 三 ありてハ ありル

上上 中村 新又 市 本田左

の 為ハ 初又 上

上上 富沢 半之 市 中村左

とんご ぶら ぶら ありて

上上 坂東 三 八 市村左

此 世ハ 今 今 今 今

上上 松本 小沢 市 日左

上上 松本 大 七 本田左

上上 中橋 之南 市 市村左

上上 中村 康多 市 中村左

上上 中村 大 市 本田左

上上 市山 傳又 市 市村左

上上 坂田 五 八 日左

上上 中橋 必 四 市 市村左

上上 市川 徳 秀 日左

上上 坂東 若 次 本田左

上上 沢村 沢 秀 中村左

上上 坂東 熊 十 市 市村左

上上 中村 付 秀 中村左

上上 坂東 重 秀 市村左

上上 坂東 利 福 秀 本田左

上上 坂川 判 又 市 日左

上上 依野 川 中 正 沢村 森 市 市

上上 市川 忠 市 上 松本 沢 市

上上 中村 茂 市 上 中村 友 市

上上 坂東 加 市 上 大 八 市

上上 中村 十 市 上 松本 大 市

上上 山下 沼 市 中 市

上上 松本 中 市

▲乃介形之部

上上 嵐 音 八 中村氏

ゆがりとうけく 二本村

上上 岩井 市一 市川 百合 滝 市

▲若女形之部

○又またどの後ふるたのどー

極吉 中村 篤十 希 音 見

西尾のゆへはうらまあい うーの

上上吉 山下 令 作 音 見

は内子色をきくわく かづい

上上吉 芳沢 隆 音 見

久くをきくわく 音のお

上上吉 岩井 中 音 見

尾の月とさかき ぬらりの

上上吉 中村 里 好 音 見

さゆくとまはら ふいさ

上上吉 瀬川 菊之 音 見

ひまわりをきくわく 志し音

上上吉 中村 神 音 見

尾上 多見 音 見 中村氏

上上吉 嵐 音 見

尾上 多見 音 見 中村氏

上上吉 瀬川 雄 音 見

尾上 多見 音 見 中村氏

上上吉 小佐川 音 見

尾上 多見 音 見 中村氏

上上吉 嵐 音 見

尾上 多見 音 見 中村氏

上上吉 沢村 音 見

尾上 多見 音 見 中村氏

上上吉 坂田 音 見

尾上 多見 音 見 中村氏

上上吉 市川 音 見

尾上 多見 音 見 中村氏

上上吉 市川 音 見

尾上 多見 音 見 中村氏

不出 俗中 又左市 日産

▲ 市川門之助 中村

上上寺 佐野市 松市

上上 坂东表之部 中村

上上 市川富 日産

上上 市川 中村

▲ 子役之部

中村七之部 山下全志部 中

中村 大谷 中

市川 中村 中

市川 中村 中

市川 中村 中

市川 中村 中

市川 中村 中

市川 中村 中

市川 中村 中

市川 中村 中

市川 中村 中

市川 中村 中

市川 中村 中

市川 中村 中

俗中

▲ 市川門之助

上上寺

上上

上上

▲ 子役之部

中村七之部

中村

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

市川

▲東田庄多子分
 一中村十八世 一中山一松
 一関井大長 一中山一吉

▲三層院之部

上上 市川久彦 中村庄
 上上 市川盛久 日庄
 上上 市川辰十郎 市村庄
 上上 市川新九郎 日庄
 上上 山下里大 表田庄
 上上 表田東吉 日庄

▲大吏之部

上上吉 中村勘三郎
 上上吉 中村傳九郎
 上上吉 市村那金馬
 上上吉 市村海彦
 上上吉 表田勘次
 上上吉 表田八十助
 上上吉 表田又次郎

▲相言仿者之部

中村庄
 山回平三
 津本一八
 砂園伊二
 壕越菜陽
 中村坂一
 中村坂一
 中村清九郎
 大熊周象
 奥野榮八
 堀山金八
 堀井馬吉
 笠原専助
 市塚次郎
 表田庄

市村庄

表田庄

極田治助
 河竹新七
 常盤井田平
 津本一八
 砂園伊二
 壕越菜陽
 中村坂一
 中村坂一
 中村清九郎
 大熊周象
 奥野榮八
 堀山金八
 堀井馬吉
 笠原専助
 市塚次郎
 表田庄

田口金吾
當時休市川海老蔵
以上

○ちんちんはあやとちんちん
安永二年九月二日 寺に於て中一解院
勇極院に感月持 俗名中村少長
安永三年八月廿四日 奇八平町に於て
本行院常念 俗名坂田多平
享和七年十月廿日 仙居に於て
右五人目録を以て人々を
○ちんちんはあやとちんちん

後志願秘抄
役者金書
全録又冊

いふに後志願秘抄は、
船名相之佐也、
○是の如く、
のふは、

○好子春秋、芝居の評判

芝居好者、
あて世に芝居の見人と考へ、
福を死生と天令にまかせ、
一の家にわたり、
其諸ふあて、
まぶ世界を、
芝居生の芝居、
そ〜

陳蔡に困る経より秋つら
此の世の物事をさす水にわなれ
好子の店員はのり舞の難不
修の事をもたさくど何事の成
も心づけばいふ者いささく
きくもさす所音と二より公を
めりやまこと公果常本にのせおる
野人と突へいもは延とくおす
まもわい一夫令に安んじひら
まゝかと業のい事秋はの川
かろき想いしきんらり中
則

芝居春秋

安永

三年 春二月之序者我狂言

大入二月某子夜編多太雲り。

富之乃成ち勤夏五月家橋掬久

雨作大空来中村屋五粒之舞江

春水杜水返登之女房大雲り。

秋八月申村屋能名辛辛と習檻

類句櫻田奇化。市村在千本櫻田。

九月二日少長死ス。中村登ス。雙蝶ス。

冬十月十藏浪花上。松助初ル。

上京。級之帝次帝之下。勅詔改

八十助。十有一月。之度。顔目無始。

別苑。品定人曾催

山安永。回来初春

作者 自笑

口上

予は、上まゝに、いふべき程の、大瀬好子、を、
既、渡、り、た、の、ま、り、て、ま、ま、り、回、り、り、別、例、乃、
既、同、事、を、ま、ま、り、ま、ま、り、ま、ま、り、ま、ま、り、ま、ま、り、

▲ 立役之部

上上吉回市川忠十郎泰寛

子道行兼右根松本場九柳公後保

子貞孫孫由左五出初三南武豊家新橋守一

公女河原信吉忠家の忠也七田正夜之公忠也

から後松の末孫孫もままりはは新橋守一の子也

いらるる忠家の孫浦右忠家ともいらるる也

忠家ともいらるる也

からの孫初三也

ともいらるる也

忠家の孫浦右忠家ともいらるる也

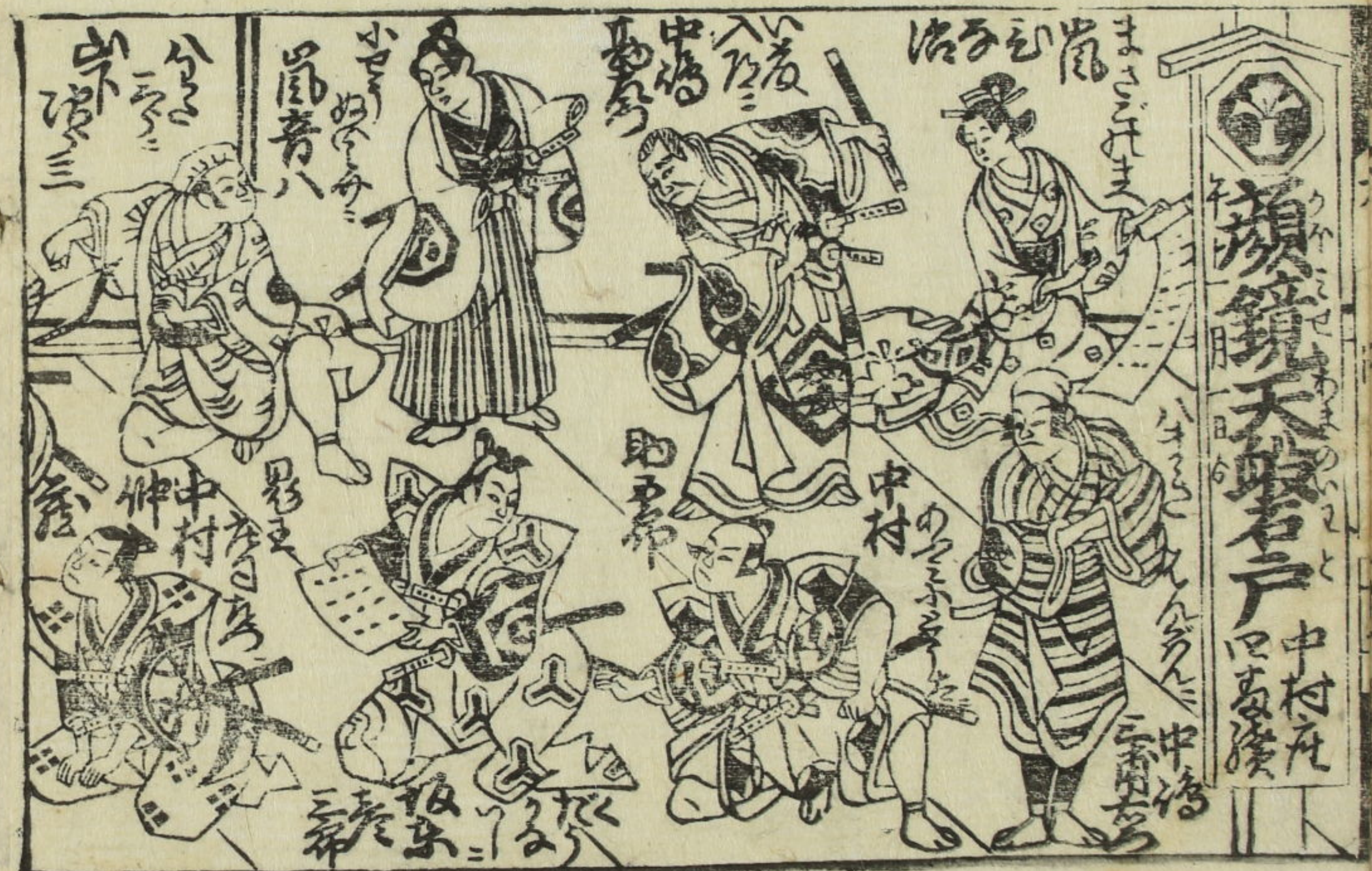
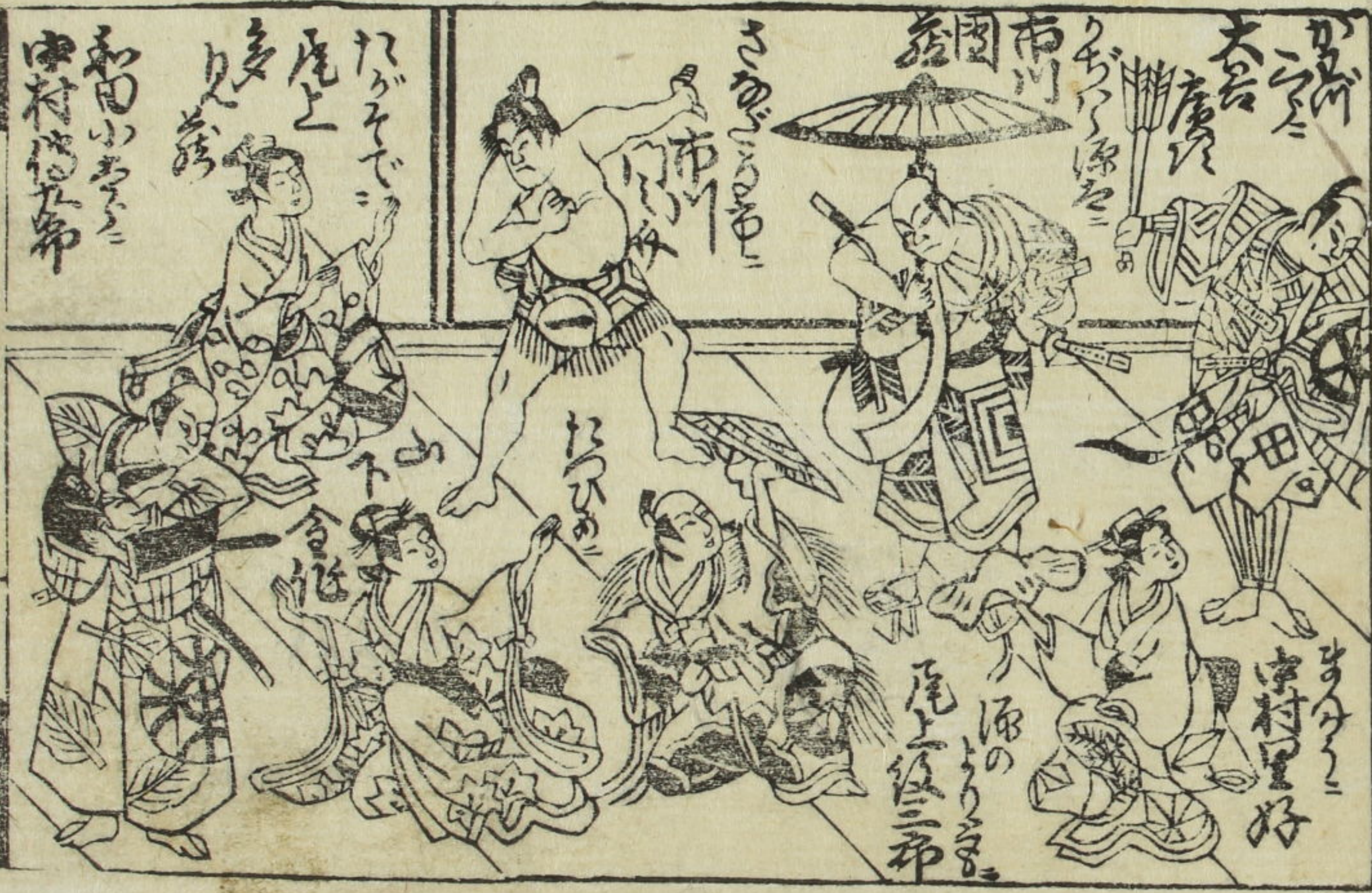
いらるる也

去其のていへんをばしるに「**四圍**」はたのむを
世の諸國をばしるに「**四圍**」はたのむを
志し其の心をばしるに「**四圍**」はたのむを
ふりてはたのむをばしるに「**四圍**」はたのむを
日書にまはるに「**四圍**」はたのむをばしるに
る事なれば「**四圍**」はたのむをばしるに
ゆえに「**四圍**」はたのむをばしるに
がたのむをばしるに「**四圍**」はたのむをばしるに
る事なれば「**四圍**」はたのむをばしるに
理制の心をばしるに「**四圍**」はたのむをばしるに
きてはたのむをばしるに「**四圍**」はたのむをばしるに
大徳の心をばしるに「**四圍**」はたのむをばしるに
ん事なれば「**四圍**」はたのむをばしるに

上上吉 **松** **中** **章** **節** **春** **南** **方**

子 **日** **三** **言** **と** **り** **通** **す** **の** **す** **の** **解** **る** **仁** **の** **義** **を**

去其のていへんをばしるに「**四圍**」はたのむを
世の諸國をばしるに「**四圍**」はたのむを
志し其の心をばしるに「**四圍**」はたのむを
ふりてはたのむをばしるに「**四圍**」はたのむを
日書にまはるに「**四圍**」はたのむをばしるに
る事なれば「**四圍**」はたのむをばしるに
ゆえに「**四圍**」はたのむをばしるに
がたのむをばしるに「**四圍**」はたのむをばしるに
る事なれば「**四圍**」はたのむをばしるに
理制の心をばしるに「**四圍**」はたのむをばしるに
きてはたのむをばしるに「**四圍**」はたのむをばしるに
大徳の心をばしるに「**四圍**」はたのむをばしるに
ん事なれば「**四圍**」はたのむをばしるに



顔鏡天啓戸
 中村丸
 中村丸

五等にておぼせしめしむるに、
のりいふまじき事なり

上上吉 ① 沢村長十郎 春雷

子日 公儀に申す蓋し御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、

上上吉 ② 尾上級之布 春雷

子日 公儀に申す蓋し御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、

上上 ③ 尾上級之布 春雷

子日 公儀に申す蓋し御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、

尾上級之布 春雷

子日 公儀に申す蓋し御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、

子日 公儀に申す蓋し御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、

子日 公儀に申す蓋し御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、

子日 公儀に申す蓋し御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、
と申す事、御方にお味也、

上上十 ④ 尾上級之布 春雷

子回いふ事甚だしく七返りて候はる候はる候はる
あふふとる事と云ふ事候はる候はる候はる
之事と云ふ事候はる候はる候はる

上上 ④ 山神田部十部中村丸

子回いふ事甚だしく七返りて候はる候はる候はる
あふふとる事と云ふ事候はる候はる候はる
之事と云ふ事候はる候はる候はる

上上 津中村後之部 再見

子回いふ事甚だしく七返りて候はる候はる候はる
あふふとる事と云ふ事候はる候はる候はる
之事と云ふ事候はる候はる候はる

上上 ⑤ 河村後之部 再見

子回いふ事甚だしく七返りて候はる候はる候はる
あふふとる事と云ふ事候はる候はる候はる
之事と云ふ事候はる候はる候はる

上上 ⑥ 尾上之部 再見

一上 坂東吉原中 一上 尾上之部中
一上 市川越前中 一上 市川吉原中
一上 市川保元中 一上 中村吉原中
一上 市川保元中

子回いふ事甚だしく七返りて候はる候はる候はる
あふふとる事と云ふ事候はる候はる候はる
之事と云ふ事候はる候はる候はる

そのせいの藤原家

去後を地

上上吉 **嗣虎** 之又希

存

予曰はつたの事も又まゝに世を嫌む事なかりし物初
七らの事も由りてはまほの事なりし一も是れ
若しけし目事の時ありは世をくひふ交は様上
後を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
の事相もいふ事ありは世を嫌む事なりし物初
も相**嗣**之といふ事ありは世を嫌む事なりし物初
ある**嗣**之といふ事ありは世を嫌む事なりし物初
也く**嗣**之といふ事ありは世を嫌む事なりし物初
路事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
ある事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
其の事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
ある事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
ある事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初

お世の徳あり **嗣**之といふ事ありは世を嫌む事なりし物初

嗣之といふ事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
ある事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
ある事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
ある事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
ある事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
ある事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
ある事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
ある事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
ある事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初

▲冥恵之部

上上吉 **嗣**之といふ事ありは世を嫌む事なりし物初

予曰はつたの事も又まゝに世を嫌む事なかりし物初
七らの事も由りてはまほの事なりし一も是れ
若しけし目事の時ありは世をくひふ交は様上
後を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
の事相もいふ事ありは世を嫌む事なりし物初
も相**嗣**之といふ事ありは世を嫌む事なりし物初
ある**嗣**之といふ事ありは世を嫌む事なりし物初
也く**嗣**之といふ事ありは世を嫌む事なりし物初
路事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
ある事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
其の事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
ある事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初
ある事ありは世を嫌む事ありは世を嫌む事なりし物初

鐘かね 市村屋
口裏談



子回 *Onsaka...* [印]

并 *...* [印]

次 *...*

子回 *...* [印]

子回 *...* [印]

子回 *...* [印]

子回 *...* [印]

上上青 仙 中村 助 又 布 中村

子回 *...* [印]

子回 *...* [印]

子回 *...* [印]

子回 *...* [印]

上上土 田 大 公 右 左 衛 門 南 村

子回 *...* [印]

中村 *...*

初 *...*

次 *...*

次 *...*

次 *...*

次 *...*

次 *...*

次 *...*

次 *...*

次 *...*

次 *...*

次 *...*

上上吉 回 中村 仲 茂 中村

子回 *...* [印]

子回 *...* [印]

子回 *...* [印]

子回 *...* [印]

上上 回 市川純右衛門 中村寛

子目は巻のついでからしるべし
其の宗廟は比叡天場之後の廟なるにあり
しむるは其の御代に於て是れ今も其の廟を
奉りて居らるゝにやとあるなり
ついでにその後にはまたそのついでに

上上十 中村新太郎 志保

子目は巻のついでからしるべし
其の宗廟は比叡天場之後の廟なるにあり
しむるは其の御代に於て是れ今も其の廟を
奉りて居らるゝにやとあるなり
ついでにその後にはまたそのついでに
其の宗廟は比叡天場之後の廟なるにあり
しむるは其の御代に於て是れ今も其の廟を
奉りて居らるゝにやとあるなり
ついでにその後にはまたそのついでに

上上 日向守屋 中村

子目は巻のついでからしるべし
其の宗廟は比叡天場之後の廟なるにあり
しむるは其の御代に於て是れ今も其の廟を
奉りて居らるゝにやとあるなり
ついでにその後にはまたそのついでに

上上 山本坂東 市村

子目は巻のついでからしるべし
其の宗廟は比叡天場之後の廟なるにあり
しむるは其の御代に於て是れ今も其の廟を
奉りて居らるゝにやとあるなり
ついでにその後にはまたそのついでに

上上 松本山 市村

子目は巻のついでからしるべし
其の宗廟は比叡天場之後の廟なるにあり
しむるは其の御代に於て是れ今も其の廟を
奉りて居らるゝにやとあるなり
ついでにその後にはまたそのついでに

上上 松本 市村

子目は巻のついでからしるべし
其の宗廟は比叡天場之後の廟なるにあり
しむるは其の御代に於て是れ今も其の廟を
奉りて居らるゝにやとあるなり
ついでにその後にはまたそのついでに

まのびくちのひらひらあの方うらまひ

上上 ⑤ 中村之南条 市村

⑥ 市村は出づるまゝんふらうとてふ二夜上条

うのまうとて徳とふのあがけけらちを

けらちをかんかき

上上 ⑦ 中村はまゝ 中村

⑧ 市村は出づるまゝんふらうとてふ二夜上条

うのまうとて徳とふのあがけけらちを

けらちをかんかき

上上 ⑨ 中村はまゝ 市村

⑩ 市村は出づるまゝんふらうとてふ二夜上条

うのまうとて徳とふのあがけけらちを

けらちをかんかき

上上 ⑪ 市村はまゝ 市村

⑫ 市村は出づるまゝんふらうとてふ二夜上条

あはれが 持ちゆきんくさうまふ

上上 ⑬ 坂田は八 市村

上上 ⑭ 中村はまゝ 中村

上上 ⑮ 市川はまゝ 市村

⑯ 市村は出づるまゝんふらうとてふ二夜上条

うのまうとて徳とふのあがけけらちを

けらちをかんかき

上上 ⑰ 坂田はまゝ 市村

⑱ 市村は出づるまゝんふらうとてふ二夜上条

うのまうとて徳とふのあがけけらちを

けらちをかんかき

上上 ⑲ 坂田はまゝ 市村

⑳ 市村は出づるまゝんふらうとてふ二夜上条

うのまうとて徳とふのあがけけらちを

けらちをかんかき

上上 ㉑ 坂田はまゝ 市村

㉒ 市村は出づるまゝんふらうとてふ二夜上条

富田屋敷



今来

新将

まらた

松竹

吉田

江戸

市田

松竹

吉田

女



大谷

時

中村

吉田

松竹

吉田

吉田

吉田

昔は徳和の事あり思ふに同國有る事有様
袖が衣の事ありかきかたの事あり
Okinawa - a part of the empire of the
Okinawa islands in the Ryukyu archipelago
of the East Indies in the western Pacific
Okinawa is a group of islands in the western
Pacific Ocean, south of the Japanese archipelago.
The islands are part of the Ryukyu archipelago,
which is a chain of islands extending from the
main islands of Japan to the Philippines.
The islands are known for their unique culture,
language, and history. They were once a
kingdom, but were annexed by Japan in 1879.
Today, they are an integral part of Japan.

上上吉

○芳は高の地 再光

同國を志す南に北の事ありかきかたの事あり
袖が衣の事ありかきかたの事あり
Okinawa - a part of the empire of the
Okinawa islands in the Ryukyu archipelago
of the East Indies in the western Pacific
Okinawa is a group of islands in the western
Pacific Ocean, south of the Japanese archipelago.
The islands are part of the Ryukyu archipelago,
which is a chain of islands extending from the
main islands of Japan to the Philippines.
The islands are known for their unique culture,
language, and history. They were once a
kingdom, but were annexed by Japan in 1879.
Today, they are an integral part of Japan.

上上吉

○若井中富第一 兼国光

子回老摩の事ありかきかたの事あり
袖が衣の事ありかきかたの事あり
Okinawa - a part of the empire of the
Okinawa islands in the Ryukyu archipelago
of the East Indies in the western Pacific
Okinawa is a group of islands in the western
Pacific Ocean, south of the Japanese archipelago.
The islands are part of the Ryukyu archipelago,
which is a chain of islands extending from the
main islands of Japan to the Philippines.
The islands are known for their unique culture,
language, and history. They were once a
kingdom, but were annexed by Japan in 1879.
Today, they are an integral part of Japan.

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、

此の如くして、
 一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、


上上中
 中村 中村
 尾上 氏 氏
 中村 中村

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、
 十一、
 十二、
 十三、
 十四、
 十五、
 十六、
 十七、
 十八、
 十九、
 二十、

上上中
 中村
 氏 氏
 中村

一、
 二、
 三、
 四、
 五、
 六、
 七、
 八、
 九、
 十、


の事と云ふは左の圖ニて女の琴の形に似て

上上  瀬川雄之布 市村彦

子目 中村彦のつらきい交を結ぶるのの娘


むとむとがや并に入るといふと中をく

中より討つて母を殺す所の死に似て

上上  小之川書世 市村彦

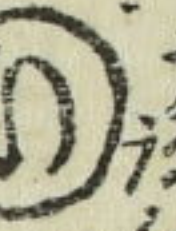
子目 いたえ娘と云ふ女房と云ふ女


房風流なり侍かひまふらごころ


上上  嵐 小成戸 中村彦


子目 いたえ娘の九つと云ふ娘より

多で分りし津波の事

上上  沢村方川 中村彦

上上  瀬川右次 日彦

上上  坂田音之助 赤田彦

上上  琴妻之助 市村彦

子目 何侍の若連より後後九和妹が云


多を結ぶる事と云ふ物ありて

めく事多あり事ありて

多ありて事ありて

多ありて事ありて

▲若丸形之部

上上  市川門之助 中村彦

子目 義の事と云ふ事ありて

多ありて事ありて

多ありて事ありて

多ありて事ありて

多ありて事ありて

多ありて事ありて

多ありて事ありて

多ありて事ありて

多ありて事ありて

又十文の紙幣の製造を命ぜられたる

上上書 同 佐世川市松 市松

同 佐世川の市松の紙幣の製造を命ぜられたる

又十文の紙幣の製造を命ぜられたる

同 佐世川の市松の紙幣の製造を命ぜられたる

又十文の紙幣の製造を命ぜられたる

同 佐世川の市松の紙幣の製造を命ぜられたる

上上書 同 坂東市松 市松

同 坂東市の市松の紙幣の製造を命ぜられたる

又十文の紙幣の製造を命ぜられたる

同 佐世川の市松の紙幣の製造を命ぜられたる

上上書 同 市川雷虎 市松

同 市川市の市松の紙幣の製造を命ぜられたる

又十文の紙幣の製造を命ぜられたる

同 佐世川の市松の紙幣の製造を命ぜられたる

又十文の紙幣の製造を命ぜられたる

のていつかのうらまゝ

市松 三次市 市松

同 市松の紙幣の製造を命ぜられたる

又十文の紙幣の製造を命ぜられたる

同 佐世川の市松の紙幣の製造を命ぜられたる

又十文の紙幣の製造を命ぜられたる

同 佐世川の市松の紙幣の製造を命ぜられたる

上上書 同 市川市松 市松

同 市川市の市松の紙幣の製造を命ぜられたる

又十文の紙幣の製造を命ぜられたる

同 佐世川の市松の紙幣の製造を命ぜられたる

上上書 同 佐川市松 市松

同 佐川市の市松の紙幣の製造を命ぜられたる

又十文の紙幣の製造を命ぜられたる

同 佐世川の市松の紙幣の製造を命ぜられたる

又十文の紙幣の製造を命ぜられたる

上上 山十里
藤田

藤田
[子] 山十里... 藤田...
[子] 山十里... 藤田...

▲ 古史之部

藤田 中村勉之部

上上吉 中村傳九部

[子] 藤田... 中村...
和... 藤田...
其... 藤田...

大上吉 市村羽左衛門

上上吉 市村龜虎

[子] 市村... 藤田...

藤田... 市村...

藤田... 市村...

藤田... 市村...

藤田... 市村...

藤田... 市村...

藤田... 市村...

藤田... 市村...

藤田... 市村...

藤田... 市村...

藤田 八十助

藤田 八十助

上上吉 藤田又次郎

[子] 藤田... 藤田...
藤田... 藤田...

うらぶらぶらや天徳寺の形徳相を
廻り廻りさう久しき弾丸を
十三の丸をまじりの五五盤の歌
又歌徳六の巻の天と狂ひを
牛印の丸

安永元年
未四月吉日

東山阿彌陀如来
八幡宮八幡板

